

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名	東日本大震災 鋼構造物調査特別委員会	委員長	高木千太郎	連絡 幹事	金子 傑
活動予定期間	平成 23 年 5 月 ～ 平成 24 年 5 月 (1年間)				
活動の目的	東日本大震災における鋼構造物の被災状況の把握，被害要因の分析等を，現地調査や既往調査報告などをもとに行う．そして，今後の鋼構造物の設計・施工・架設などに対して，フィードバックするべきことについて議論する．また，今後の鋼構造委員会の活動として，震災被害に関連する事項で何をすべきか（解決すべき課題）について議論する．さらに，これらの成果を報告書にとりまとめ，委員会委員および土木学会会員を中心に報告会を開催し，その成果を還元する．				
前回 鋼構造委員会 報告後の 活動状況	<p>第 4 回小委員会（平成 23 年 11 月 25 日）出席者 12 名 委員会の成果を還元するための報告会の開催について議論し，決定した．また，報告書の目次の確認と執筆内容の確認を行った．</p> <p>第 5 回小委員会（平成 23 年 12 月 22 日）出席者 12 名 報告会のプログラム，講演者を決定するとともに，報告書（案）の内容について報告がなされ，記述の追加などについて議論した．</p> <p>報告会（平成 24 年 1 月 27 日） 土木学会講堂にて委員会の成果を「鋼構造物の被害状況とその分析 東日本大震災鋼構造物調査特別委員会報告」（於：土木学会講堂）を開催し報告した．参加者は 79 名であった．</p>				
今後の活動計画	鋼構造協会誌（2012, No. 9）に「東日本大震災の被災によって見えてきた土木鋼構造物の課題」という記事を提供した．				
目標成果	鋼構造物の被災状況の分析および今後の調査研究課題をまとめる．				
PRポイント	上記目標成果を達成することで，鋼構造研究に関連する技術者，研究者へ調査研究活動の一つの方向性を提示した．				
その他	なし				